

2017年 11月

通号71号

障がい学生支援室だより

学生総合支援センター 障がい学生支援室 発行

皆さんは、聴覚障がいがあり、聞こえない・聞こえにくいという人に対するサポート方法として、どのような方法が思い浮かぶでしょうか。



手話言語による通訳が必要なのは？ 駅では列車の遅延情報が、文字によって表示されているな、、、これまでの経験から、以上のようなサポート場面をイメージした人もいることでしょう。

今月は、聴覚情報である「聞こえ」を視覚情報である「文字」に通訳することによるサポートの最前線について、いくつか紹介していきたいと思います。



聴覚情報保障の最前線

◆連係入力による PC ノートテイクと遠隔情報保障

音声を文字に変換する情報保障は、以前から手書きによるものが用いられてきましたが、熟達した支援者であっても、書き表せる量は、音声の 3 分の 1 程度であり、かなりの情報を「要約」するほかありませんでした。しかし、近年になって PC 等の活用が進み、より円滑に音声を文字化できる場面が増えてきました。複数台の PC を同時に用いた「連係入力」という方法のノートテイクでは、2 名以上の支援者が、リレー式で音声の入力を行うことによって、より多くの音声情報を文字に表すことができるようになりました。ところが一方で、円滑な連係を行うためには、一定の修養期間が必要となり、技術を提供できる支援者が限られてしまうという問題も生じています。地域によっては人材が少なく、ニーズがあっても支援者を確保できないといったことも起こりえます。

そこで、現在提供が進みつつある技術の一つとして、「遠隔情報保障」という方法が注目されています。これは支援者が現地で入力作業を行うのではなく、複数台の PC をインターネットで接続し、支援者がどこに所在していても連係できるようにした技術です。

聴覚障がいの支援にあたっては、限られた支援者を現地で手配しなければならないという課題が常に伴うのですが、ICT 機器等の進歩によって、人材不足の解消に道が開けつつあるといえるでしょう。ただし、やはり現地でなければ把握できない状況も多々あり、遠隔通信技術だけで全ての課題が解消できるわけではありませんので、ニーズに応じて運用していくためには、十分な留意が必要です。



「PCによるノートテイクの様子」

◆音声認識技術による情報保障

PC の連係入力による情報保障が進んできたことによって、聴覚障がいのある人が受け取ることができる情報は多くなったといえます。一方で、支援者を必要とする支援であるため、個人的な内容の相談事や、日常的に気軽な場面での対話には利用しにくいといった点もあります。

このような場面で期待されているのが、音声認識技術による、音声の自動通訳です。現在では音声を認識する精度がとて高くなり、スマートフォン等、手持ちの端末で、利用者が個人のニーズに応じて活用できるシーンが増えてきました。今後はソフトウェアの改良が進み、さらに認識の精度が上がることも想定されますので、さらに期待感のもてる技術であることに相違ありません。

しかしながら、話し手の発音の明瞭さに左右されることや、話し言葉が書き言葉に比べて文法的にまとまっていないこと等、機器に任せただけでは、かえって分かりにくさを増してしまう場面も考えられます。入力を音声認識に任せつつ、支援者が「修正」を行うことで、より分かりやすい情報となるよう、その運用方法について検証や研究がはじまってきています。



このような技術によって、より円滑に情報を得やすい社会へと進みつつあります。障がい学生支援室では、日常の支援を通して様々なバリアフリーの情報も提供しています。興味をもたれた皆さんは、ぜひ支援室へ足を運んでもらえたらと思います。

講義を担当される先生方へ「映像資料の文字起こし」について

聴覚障がい学生に応じた情報保障を提供するため、障がい学生支援室では、様々な「映像資料」の文字起こしを常時受け付けております。

もし講義内で、あらかじめ字幕等が付いていない映像をご使用の先生方がいらっしゃいましたら、現在の受講者に聴覚障がい学生がいる・いないに関わらず、映像内の音声のテキスト化を実施してデータでお渡しいたします。字幕がない場合でも、音声テキスト化されていれば、聴覚障がい学生が内容を読み取りつつ講義に参加することが可能となりますので、是非この機会にお申し出ください。



【連絡先】
障がい学生支援室 (shien-dr@okayama-u.ac.jp) 宛にお申し込みください。

【連絡事項】
氏名、所属、映像資料の詳細(内容、時間等)、希望納期をご連絡ください。

ノートテイク(NT) 募集

募集対象

特に、工学部、環境理工学部、理学部、法学部の学部生・院生のみなさんを急募しています。

もちろん、他学部の方のエントリーも OK。

募集中の時間割

全時間。参加は週 1 コマから OK。(基本的に 1 コマ 2 時間)

ノートテイク手当

60 分 1,000 円の支給有。就職活動等に必要の方は、証明書を発行。

応募方法

「氏名・学部学科・学年・学生番号・連絡先メールアドレス」を障がい学生支援室 (shien-dr@okayama-u.ac.jp) まで、ご連絡ください。

報告

手話講座(入門編)

障がい学生支援室では、10月16日(月)16時30分から手話サークル「ふくろうのて」のみなさんの協力で「手話講座(入門編)」を開催しました。平日の遅い時間からの開催となりましたが、多くの学生・教職員のみなさまが参加してくださいました。

身振り手振り、表情を使って伝言ゲームを行ったり、大学名、学部名、氏名等の簡単な手話を学びました。

「ふくろうのて」の方が、1つ1つ丁寧に教えてくださったので、とてもわかりやすかったです。



手話は難しいのかなという印象があったのですが、手話にも、その形をとる由来があって、それを元にとると学びやすかったです。



岡山大学
学生総合支援センター
障がい学生支援室

【場 所】 一般教育棟 D 棟 1 階

【開室時間】 月～金：10:00～12:00 / 13:00～17:00

【連絡先】 086-251-8553 (支援室受付)

【E-mail】 shien-dr@okayama-u.ac.jp

